

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	スクールヘルスリーダー派遣事業全国連絡協議会の開催等		担当部局	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 平下文康		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・学校保健法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) ・教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	子どもたちの多様化した心身の健康課題に対応するため、養護教諭の果たす役割が今まで以上に期待されているが、大半は養護教諭一人配置校や未配置校であることから対応が十分とはいえない。そのため、経験豊かな退職養護教諭を未配置校等へ派遣し、子どもたちが抱える現代的健康課題に適切に対処できる環境を整備する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各都道府県、政令指定都市の「スクールヘルスリーダー事業」担当者を集め、参加者が実践発表、班別協議、班別発表をするとともに、健康教育調査官が講評、説明を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	—			
		繰越し等	—	—	—			
		計	103	103	1	0		
	執行額	84	106	0.05				
	執行率(%)	81.6	102.9	9.2%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(22年度)
	スクールヘルスリーダー派遣学校総数		成果実績	回	516	566	160	600
				達成度	%	86.0	94.3%	26.7%
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	スクールヘルスリーダー派遣事業全国連絡協議会開催数		活動実績(当初見込み)	回	1	1	1	— (—)
単位当たりコスト	47,644(円/回)		算出根拠	単位当たりのコスト=22年度経費(47,644)/連絡協議会開催数(1)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。 ・当該事業の活動実績に係る点検方法については、事業完了報告書により事業の実施内容及び活動状況について、適切に管理されているかを確認している。 ・全国連絡協議会を、「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」とともに開催し、会場も国立オリンピック記念青少年総合センターを使用するなど経費節減に努めたため、不要額が多かった。 ・22年度は、社会教育課の学校・家庭・地域連携協力推進事業の補助対象経費となり、事業規模が少額でもあるので、今後は、既存事業との統合による効率化を一層図るべきである。 	
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、既存事業との統合による効率化を一層図ることにより、平成22年度をもって廃止している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
※平成22年度で事業終了			

スクールヘルスリーダー派遣事業全国連絡協議会の開催

A.文部科学省
0.05百万円

教職員研修費 0.05百万円を含む。

※教職員研修費は消耗品の購入等であり、1件100万円以上のものはない。

各都道府県、政令指定都市の「スクールヘルスリーダー事業」担当者を集め、参加者が実践発表、班別協議、班別発表をするとともに、健康教育調査官が講評、説明を行う。

※ 21年度までは、経験豊かな退職養護教諭を養護教諭未配置校等へ派遣したり、都道府県・政令指定都市で連絡協議会を開催したりする予算を執行していたが、22年度は、社会教育課の学校・家庭・地域連携協力推進事業の補助対象経費となり、当課では、全国連絡協議会を、「子どもの健康を守る地域専門家総合連携事業」とともに開催した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.文部科学省			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※百万円未満のため省略				
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0